



Contents

《視察報告》	
「ハノイ・ホーチミン視察報告」 魚住 和宏	1
《個別奨励研究報告》	
「韓国におけるリノベーションまちづくりの調査報告」 鄭 一止	3
《視察報告》	
「タイ・バンコクとアユタヤ近郊の洪水跡地を視察して」 秋山 憲治	6
《シンポジウム報告》	
「神奈川大学箱根療養所にて公開シンポジウム」 泉水 英計	8
2018年度活動報告	10

視察報告

ハノイ・ホーチミン視察報告

魚住 和宏

2月25日(月)から3月1日(金)までベトナムのハノイ、ホーチミンを視察した。その内容を簡単に報告させて頂く。今回の主な目的は3つである。一つには小職が日本アセアンセンターと行っているASEAN各国の物流業への規制の調査の一環で、現地の業界団体であるVietnam Logistics Association (VLA)、郵船ロジスティクスベトナム(以下YLKベトナム)、JETRO等を訪問し、情報収集すること。二つ目は、2017年からセブンイレブンが参入し、またそれを迎え撃つかのように急速に店舗展開している地元資本のVin Mart Plusや他のコンビニの動きなど食品流通の動向を探ること、3つ目は味の素ベトナムを訪問し、SCM課題について共有し、解決策を議論することなどである。本稿では物流業の外資規制について中心に報告させて頂く。

まず、ハノイに入りVLAを訪問し、Tuongさんという年配の男性とLanhさん、Thaoさんという女性の3名と面談した。

VLAはVietnam Freight Forwarders Associationとして1993年に設立。2013年に現在の名称に変更された。本部はホーチミン、ハノイに支部があり、ハノイ支部は北部の会員のフォローを行っている。2018/12/31現在、会員数は365社、その内、正会員308社、賛助会員57社(内37社が外資)であり、大手の物流会社が会員。日本の日本物流団体連合会(物流連)のような組織との印象を受けた。

外資系企業が出資出来る比率、所謂外資規制は、かなり細かく決められている。提供された2018年2月の改正の最新の内容をまとめると下記の通りである。

- ・倉庫業、利用運送事業、宅配便 100%
- ・通関業：99%
- ・外航海運、内航海運、鉄道輸送業：49%
- ・コンテナ荷役業：50%
- ・国内輸送業：51%(但し、運転手は全てベトナム人に限る)
- ・コンテナデポ運営会社：51%
- ・航空輸送：30%(但し、出資額についても100bil VND(4.5 mil USD)から1,300bil VND(58.3 mil USD)に制限されている。)

非常に詳しく説明して頂き感激したが、一方で、Tuongさんからロジスティクスに関して日本に対し、支援をお願いしたいということで下記の事を依頼された。



向かって左がTuongさん、右がLanhさん